



## ◇ 全産業の動き ◇

### 〔業況のDI〕 建設業、卸売業は横ばい。製造業、小売業、サービス業は下降

来期は建設業を除く4業種で上昇を予想。建設業は横ばいを予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲28.1	↘	▲34.3 (▲68.5)	↗	▲13.9
建設業	▲28.0	→	▲24.2 (▲20.0)	→	▲20.7
卸売業	▲15.0	→	▲18.2 (▲64.0)	↗	4.6
小売業	▲41.7	↘	▲52.4 (▲80.0)	↗	▲9.5
サービス業	▲29.6	↘	▲51.9 (▲71.9)	↗	▲30.8
全産業	▲28.9	↘	▲35.8 (▲60.6)	↗	▲14.9

### 〔売上高のDI〕 建設業、卸売業は上昇。製造業、小売業、サービス業は下降

来期は卸売業を除く4業種で上昇を予想。卸売業は横ばいを予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲26.5	↘	▲40.0 (▲62.8)	↗	0.0
建設業	▲38.5	↗	▲17.3 (▲30.0)	↗	3.4
卸売業	▲10.0	↗	0.0 (▲60.0)	→	4.6
小売業	▲37.5	↘	▲45.0 (▲76.0)	↗	▲30.0
サービス業	▲11.5	↘	▲25.9 (▲62.5)	↗	▲7.7
全産業	▲25.4	→	▲26.3 (▲57.8)	↗	▲4.5

### 〔採算のDI〕 建設業を除く4業種で下降。建設業は横ばい。

来期は卸売業を除く4業種で上昇を予想。卸売業は横ばいを予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲12.1	↘	▲42.8 (▲57.1)	↗	▲25.0
建設業	▲42.4	→	▲37.9 (▲24.1)	↗	▲28.6
卸売業	▲5.0	↘	▲22.7 (▲48.0)	→	▲18.2
小売業	▲37.5	↘	▲52.4 (▲64.0)	↗	▲14.3
サービス業	▲25.9	↘	▲42.9 (▲58.1)	↗	▲25.9
全産業	▲24.6	↘	▲40.0 (▲50.4)	↗	▲23.2

## ◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

### 【製造業】 景気ムード…【低調】

『製紙』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「トイレットペーパーの出荷が非常に低迷している。前年の反動減だけでない。インバウンド需要が消滅し、業務用の売れ行きがさっぱりである」と家庭紙不調のコメントが寄せられた。今後の見通しについては「全く見通しが立たない」「緊急事態宣言が発出後も、一向に収まらないコロナ」「全人口の7割程度がワクチン接種を完了しないと見通しが立たない」とコロナを憂うコメントが多かった。この他「不採算部門を整理したら、様々ある課題のいくつかが解消し、見通しは明るくなった」とのコメントもあった。

『紙加工』…総じてコロナ不況による受注減少を不安視する声が多かった。「業務用家庭紙の販売が主となっているため、世の中の動きが制限される事での需要の落ち込みが大きい。同業の方も良い話はほとんど聞こえてこない」「緊急事態宣言により営業活動も制約され、思うような成果が上げられない。家庭紙の売れ行きも不振が続き、生産調整せざるを得ない」「5月以降、昨年同月の売上を上回っているものの、昨年のコロナ禍初期の異常な経済収縮の一時的反動と思われる」などのコメントが目立った。この他に「脱プラスチックから始まった紙の見直しの動きが、ここへきて容器のみに留まらず、ベッドや棚などの家具分野でも良い影響が生じてきている」と前向きなコメントもあった。今後の見通しについては「緊急事態宣言が解除になっても、元通りになる事は難しい。学校関係、商業施設だけでも元に戻ってくれれば助かる」「長期的に売上減少傾向にあり、コロナ収束後でも売上増加には転じにくいだろう」「コロナ禍で今は全く見通しが立たない」とのコメントがあった。

『金属加工』…総じて半導体不足の影響、自動車の減産を不安視する声が多かった。「自動車部品は、半導体不足や新型コロナウイルスの感染による工場停止等で部品調達が難しくなっており、自動車は減産傾向である」「工作機械部品は、今のところ順調だが、今後は半導体不足の影響が出てくるだろう」「部品メーカーの人手不足により、全体で遅れが生じている」とのコメントがあった。

『金型部品』…総じて部品調達の遅れ、自動車の減産を不安視する声が多かった。「自動車メーカーが減産となり、その影響を受けている」「部品不足で生産を調整している。今のところ影響はないが、今後は分からない」とのコメントがあった。今後の見通しについては「半導体不足が解消し、生産の回復を期待する」とのコメントがあった。

『自動車部品』…総じてコロナの影響に対しては冷静に捉えている声が多かった。「8月以降で需要拡大の見込みがあったが、世界中でコロナによる製品遅れが生じ、拡大につながらない」「海外と比べコロナの影響による台数の落ち込みが少ないこともあり、前年からの戻りも少ない。中長期的には国内の需要は減少していくと見ており、想定通りの動きと考えている」「現状はコロナの影響を受ける事もなく順調である」とのコメントがあった。同じ業種でも、部品によりコロナの影響は様々のようである。今後の見通しについては「コロナが終息するまでは難しい」「各国でコロナワクチン接種が進み、経済が動き始めれば回復は早いと思われる。国内でも物流は減る感じはしていない」「自動車のEV化による軽量化によって部品点数減等、影響は数年のうちに現れてくると思う」とのコメントがあった。

『衣料・繊維加工』…総じて前向きな声が多かった。「海外での紐製品需要の持ち直しが見られる」「新型コロナウイルスの流行次第だが、概ね業績は順調に推移すると思われる」とのコメントがあった。

『印刷資材・印刷関連』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「前年同様にコロナの影響で印刷業界は厳しい」「コロナの影響で民間の需要が減少したまま戻らない」「広告の需要は、飲食・観光・イベントの活況具合に比例するので、コロナが収束しても、ある程度自粛状態の継続が見込まれる為、広告需要の回復は当分先であろう」とのコメントがあった。今後の見通しについては「デルタ株の拡大でこの先も需要低迷が続くかもしれない」「コロナの影響次第で需要の減少がさらに長期化する」「コロナが収束しても、完全には元通りにはならないだろう」とのコメントがあった。

『食品』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「昨年と比較してコロナ特需（巣ごもり、中食）も落ち着き、一昨年並の販売需要であるが、原材料費などの各コストの上昇、長雨等の天候不順により、厳しい状況である」「スーパーでは安売り傾向で、需要は減少傾向である。」というコメントから、コスト増、価格競争を不安視するコメントがあった。また「コンビニでは大きく減少し、回復の見込みは無し。お土産も変動なし」「道の駅や土産店などに商品を卸しているが、緊急事態宣言により閑散としており、販売数が大幅に減少している」と、コロナによる影響が長期化しているとのコメントがあった。今後の見通しについては、「コロナ収束の見通しが不透明」「未だに収束が見通せない状況が続くが、ワクチン接種が進むことで人流が戻れば需要も回復すると思われる」とコロナ収束について不安視する声と期待を寄せる声が二分した。また「今後も食品市場は安いものが消費される傾向は続くだろう」「原材料の高騰、エネルギーコストの上昇がボディブローのように効いてきている。大手の寡占化に拍車がかかり、地方（地元企業）を守る方策を講じてほしい。政治的、行政的な政策が無ければ、企業努力だけではもう限界」とコスト増や価格競争に対して悲鳴を上げるコメントもあった。

『飲料』…「暑さが収まり涼しくなってきたので、お茶を飲む機会が増える事に期待」とのコメントがあった。

『機械器具』…「今になってからコロナの影響が出始め、売上や客からの仕事依頼が減少している」「輸入部品の遅れによる生産減」とのコメントがあった。

『その他』…「富士市は大手の工場が多く、中小事業者にとって人材確保は非常に難しい」「生産量が増えたとき、働き方改革への対応もあり、どのような生産体制を整えるべきか悩んでしまう。外国人労働者を使っても将来に繋げる手立てにはならない」「どの業種も厳しい状況である」「岳南電車の富士岡駅で貨物の広場が出来たことを SNS でも話題になっており、応援したい」との意見が寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	8.6	48.6	42.9	▲34.3	上 昇
売上高	17.1	25.7	57.1	▲40.0	上 昇
採 算	8.6	40.0	51.4	▲42.8	上 昇

## 【建設業】 景気ムード…【低調】

『総合建設』…総じて民間の設備投資の低調を指摘する声が多かった。「コロナの影響で社会全体が先行き不透明な状況が続く、個人、法人の設備投資意欲の回復も見込めず、業界全体の厳しさが増している」「公共工事は安定的に確保されていくと思う。民間工事は、受注物件の減少で競争がますます激化していく。大手建設業の地方への進出も顕著になってきている」「建設用資材が不足し、値上がりしている」「ウッドショックや設備機器の不足により完成引き渡しが遅れる事例が出ている」「新型コロナウイルスの収束が見込めない為、

民間の設備投資は当面落ち込んだまま。引き続き入札競争は厳しい状況である」とのコメントがあり、特に民間の設備投資の低調とコスト増が懸念されている模様。今後の見通しについては「建設資材は上昇し、売上、利益の落ち込みが考えられる」「民間工事が増加する見通しはなく、売上が減少し、中小建設業の経営難が深刻になるだろう」「来年度は、公共事業は投資減少。民間住宅投資は、住宅取得関連支援策は2021年度末終了となるため微減。民間非住宅建設投資は製造業の設備投資が回復し微増と予想」などのコメントがあった。民間の投資低調が建設業界に厳しい影響を与えていることが分かる。

『**一般住宅**』…総じて木材高騰を除き、他に比べて不安要素は少ない様子である。「ウッドショックの影響は現況感じられない」「木材の値上げがいつまで続くのか先が見えない」とウッドショックの影響は分かれている。今後の見通しについては、「ウッドショックの先行きが分からず不安である」「コロナとうまく付き合いながら緩やかに回復していくことを期待する」とのコメントがあった。

『**建設関連**』…総じて投資意欲の減少を不安視する声が多かった。「公共工事の仕事がまったくなく、民間事業も新規が取れない。コンクリート等の値上げも始まりそうである」「需要低迷の為、生コンクリートの生産調整が必要だと思う」「コロナの影響が大きい。新規の受注はあるが、量的には減少傾向」とのコメントがあった。今後の見込みについては「大規模事業が少なく見通しは悪い」「コロナ収束の目処が立たない限り、状況は今よりも悪化すると思われる」「緊急事態宣言が延長された場合、年内中に様々な動きが停止すると思う。企業存続も危うく、オリパラ終了後の国内の景気の冷え込みが心配である」とのコメントがあった。

『**土木関連**』…「過当競争が激しく思うような金額で工事が受注できない」「仕事量の割に業者が多すぎる」とのコメントがあった。

『**造園土木**』…「材料が徐々に値上がりしてきた」「コンビニ、ドラッグストア等の新築で植栽工事が多少増加傾向にあるが、個人住宅の分譲では分譲面積が小さく植栽工事はほとんどない」とのコメントがあった。今後の見通しについては「人材が足りない」「コロナが収束しなければ行動範囲も狭くなってしまう」「新型コロナの収束が見えず、民間、公共工事共に見通しは良くない」とのコメントがあった。

『**設備工事**』…総じて投資の冷え込みと競争激化を指摘する声が多い。「過当競争が激化している」「オリパラが終わり、大型投資が無く、大手が小さい物件に手を出し始めている」「コロナ収束が見えずに投資が控えめになっている」「半導体問題や海外のコンテナ不足問題により、メーカーからの出荷が遅れ気味」「緊急事態宣言により、一部顧客との取引に支障が生じている」とのコメントがあった。今後の見通しについて「人材不足による競争力低下で厳しい」「過当競争が更に進むだろう」「コロナで先が読めない」とのコメントがあった。

『**その他**』…「市内のある地域で残土を高く盛土された箇所があり、市役所に通報したところ、業者が撤去作業をはじめた」「緊急事態宣言が発出され、地域経済が全体的に冷え込んでいる」「行政と企業が連携して地域経済を活性化しなければならない時期であるが、行政側のイニシアティブは見られない」「先日発表された静岡県の地価（基準地価）が13年連続でマイナスとなった」「各イベントもコロナにより中止となる。人の動きが減る等により、各業種の売上が下がり、建設業にも影響が出ている」「早期の経済回復、行動制限の撤廃を望む」「富士市のワクチン接種は遅い。8月20日時点で沼津市では20代が接種している」「静岡県内や富士市内のコロナ感染者がじわじわ増加している事に恐怖を感じる。オールジャパンでの対策と強い指導力を期待したい」「地区行事が全て中止となり、地区内の顔の見える付き合い方が減った事で不安な面もある」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	3.4	69.0	27.6	▲24.2	横ばい
売上高	10.3	62.1	27.6	▲17.3	上 昇
採 算	0.0	62.1	37.9	▲37.9	上 昇

## 【卸 売 業】 景気ムード…【安 定】

『機械器具』…総じて部品の値上げと納期遅れを不安視する声が多かった。「電装品や駆動系の部品に大きな納期遅れが生じている」「部品の値上げも頻発しており、値上げ幅も5～20%と大幅で、我々中小企業が吸収できるレベルではない」「クラスターが工場で発生して製品が出荷できないと連絡してきたメーカーが2社あり、仕入、供給に苦労している」とのコメントがあった。今後の見通しについては「納期遅延が解消する様子がなく製造業（特に機械関係）に与える影響は更に大きくなるのではと心配している」「コロナ感染者の増減によって、市場の動向は大きく変わる」とのコメントがあった。

『自動車部品』…総じて半導体不足による影響を指摘する声が多かった。「半導体不足のため、自動車の生産が追いつかない」「コロナで部品下請けメーカーの休業もあり、生産に遅れが生じている」「新車販売が落ち込み、中古車市場が盛り上がっている」「半導体不足による自動車減産の影響は、自動車整備業界にも影響が出ており、部品需要も落ち込んでいる」とのコメントがあった。今後の見通しについては「しばらくはコロナの影響による市場の落ち込みは続くであろう」とのコメントがあった。

『建築材料』…総じてウッドショックや仕入原価の上昇を指摘する声が多かった。「前年同期に比べ、売上は減少、仕入原価は値上がりが続いている状況である」「ウッドショックにより木材調達ができない新規ビルダーが増加し、生産能力以上の受注がきている」今後の見通しについて「新型コロナ感染第5波真っ只中で、感染収束の見通しが立たず、建設業界にも徐々に影響が出始めている」「緊急事態宣言が解除され、経済活動が回復していけば受注も回復してくるだろう」「年内はウッドショックが続くだろう」とのコメントがあった。

『紙』…総じてコロナの影響で情報用紙の需要が大幅に下がったとの声が多かった。「コロナで情報用紙の需要は下がっているが、悪いなりに動いている」とのコメントがあった。今後の見通しについて「短期的には新型コロナの影響が大きいですが、プラから紙へという流れの中で、長期的には紙への転換が進んでいくと思われるので、先行きは明るいと考えている」と前向きなコメントもあった。

『製紙原料』…総じて家庭紙の生産調整を指摘する声が多かった。「家庭紙は、コロナの影響で業務用の需要が伸びず、生産調整して急場をしのぐ状態」「テレワークが進み、オフィス書類（古紙）が半減している」とのコメントがあった。今後の見通しについては「（生産調整している）家庭紙が今後回復した場合、古紙の価格は暴騰する可能性は大きい」「コロナ対策を現在までしっかりと対応してきた事業所は、コロナ収束後に新しい展開が可能と考えられる」「需要の多い衛生紙の方向に視点を変えないと、小さな製紙原料商は大手の傘下にでも助けを求めるしかない」とのコメントがあった。

『再生資源』…総じて当分は好調との声が多かった。「コロナ後のインフラ設備、中国や東南アジアで鉄鋼製品の製造などが原因で鉄スクラップ不足になっている」「輸出増加、単価値上がりと国内ではコロナ不況と鉄鉱石不足で単価が押し上げられている」「非鉄スクラップ相場は、中国、不動産の倒産リスクが株価を下げている。」「鉄鋼製品の値上げに伴

い、原料の鉄鉱石、鉄スクラップの価格が上昇」「コロナ禍において突発的な廃棄物処理にも対応できる体制が常時求められている」今後の見通しについて「早いコロナの収束を願う」「鉄メーカーはCO2負担の少ない鉄スクラップ使用を積極的に購入する傾向である」とのコメントがあった。

『工業薬品』…総じて原材料不足と値上げを指摘する声が多かった。「原料不足と原料の値上げが続いている。商品価格に反映できるかが鍵である」「日々状況が変化しており、見通しが立たない」とのコメントがあった。

『食品』…現状、今後ともに需要減と供給過剰が続く。

『その他』…「コロナ前に戻るには程遠く、この先何をしてよいかどの方向性が良いのか先が見えなくて困る」「富士市独自の市民向けコロナ補償金を出してほしい」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期DI	来期予測
業況	13.6	54.5	31.8	▲18.2	上昇
売上高	31.8	36.4	31.8	0.0	横ばい
採算	18.2	40.9	40.9	▲22.7	横ばい

## 〔小売業〕 景気ムード…【低調】

『各種食料品』…総じてコロナ収束後の商機に期待する声が多かった。「7月の中元、8月の盆商戦、帰省、9月のシルバーウィーク並びに敬老商戦、彼岸商戦と菓子需要に対してかなり期待を寄せていたが、コロナ禍、緊急事態宣言下では期待の6～7割であった」「繁忙期に天候が悪く、売上減である。集中豪雨、台風等、商売の大敵である」「コロナでテイクアウトは安定している。密になる大型店、ショッピングモールなどでは緊急事態宣言により、集客減がはっきりしている」とのコメントがあった。今後の見通しについて「秋以降は、年末年始、入学・卒業、就転職等々、年間需要の6～7割が集中する時期だが、全てはコロナ次第。生き残る為のいくつかのウィズコロナ、アフターコロナへのチャレンジを進めている」「コロナが収束すれば、業況も活況を見せると思う。11月が勝負」と前向きなコメントが多かった。

『医療器具』…「受診控えによる患者の減少から戻しているが、依然厳しい。あまり明るくない」とのコメントがあった。

『衣料品・呉服』…総じて市場の縮小を嘆く声が多かった。「振袖、七五三共にレンタル用の商品が大半を占め、単価が下がっている。伝統的産品が激減した」「製作現場が高齢化で厳しい」とのコメントがあった。

『生花』…総じてコロナの影響で非常に苦しいという声が多かった。「コロナで各種イベントの中止や縮小で花の出番が無い」「長雨により生産量の不足。繁忙期では入手困難の可能性もある」とのコメントがあった。

『日用品・雑貨』…コロナ禍で、総じて外出自粛で来店客の減少という声が多かった。「静岡県下の緊急事態宣言発出に伴い、商店街への来客が激減」「コロナで冠婚葬祭及び各種イベント中止により、装飾品の需要低迷が続いている」「廃業や倒産が増えて、取引先も同業者も減っている」「コロナの影響が続き、メイク商品の需要が薄い。旅行やイベントが回復しないと化粧品も回復が見込めない」「不要不急の外出自粛により、来店客、売上ともに減

少している」とコロナにより客数の大幅な減少を憂う声が多い。ネット通販については「巣ごもり需要の恩恵があり通販は引き続き好調であり、前年対比でも大幅な伸びが続いている」と好調なコメントがある一方で、「インターネットによる購入が高齢者にも増えてきている。ネット購入した商品の使用方法やメンテナンスの対応が分からず、持ち込まれる事が増えているが、その労力に見合う対価が得られない」とネット販売によるマイナスの要素も出ている。今後の見通しについて「コロナ収束後も結婚式、葬儀等の形態は以前のようにには戻らないと感じている。このため、コロナ収束後に急速に経済が回復することはないと考えている」「年内の景気回復は厳しいと予測。コロナの収束に伴い、春先から本格的に回復基調になると思われる」とコロナ収束後は期待と不安に分かれた。また「通販の成長もやや鈍化してきた為、次のステージに上がる為の新しい仕掛けがないと頭打ちは避けられない。危機感をもって望んでいきたい」との好調でも油断できないとするコメントもあった。

『家電』…「コロナの影響により電化製品の製造が遅れており、販売契約が成立しても品物が供給できない等、商売に大きく影響している」「地球温暖化防止のために省エネ家電への買い替え（古い家電製品を見直しませんか）、太陽光発電など再生可能エネルギーの促進をはかっていく」とのコメントがあった。

『自動車・部品』…総じて半導体不足の影響を指摘する声が多かった。「点検基準の見直しにより10月1日より「OBD（車載式故障診断装置）の結果」が追加される。1年毎に不具合が無いか確認し、ある場合はスキャンツールなどで整備することが義務付けられる」「半導体不足の影響で新車の納期が遅れ、中古車のオークション出品台数が減り、落札価格が上昇している。半導体不足が解消されるまで続くと思われる」とのコメントがあった。

『燃料』…「仕入が高騰。コロナ禍で見通しが立たない」とのコメントがあった。

『その他』…「商店街付近の飲食店は夜間ほとんど休業で、夜は真っ暗である。元に戻るか心配である」「アトリエテチ、大野屋（お好み焼）、唐揚げ14番、戸隠そばなど、吉原商店街では東地区ラクロス吉原あたりの出店が続いている。今後も珈琲豆店、フィットネスクラブの出店が予定されており、明るい材料となっている」「結局、（スーパー、ホームセンター等を除く）小規模小売店だけが一人負けしている様に感じる」「富士駅周辺でスタートしたふじスマイル缶バッジキャンペーンへの注目度が高い。商店、飲食店だけでなく、学校や企業の注目を集める予感がする」「中心市街地の空洞化が激しく、消費者の無関心地帯となっている」「世界中がコロナで苦しめられているが、コロナだからこそ幸運を掴める人達も大勢出てくるだろう。まさに逆転の発想でチャンス到来」「イシバシプラザが閉鎖し、県東部の商業も寂しくなる。イオンショッピングモール富士南も歯抜けで寂しい。イオンが撤退し外資が出店する噂は本当なのだろうか」「協力金が出るので休業している店舗が多い。再開後、客が戻るか心配である」「コロナの影響により各種イベント（吉原商店街宿場まつり、一の市）の中止があり、街の賑わいが欠ける」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	9.5	28.6	61.9	▲52.4	上昇
売上高	20.0	15.0	65.0	▲45.0	上昇
採算	9.5	28.6	61.9	▲52.4	上昇

## 【サービス業】 景気ムード…【厳しい】

『飲食』…総じてコロナの早期収束を望む声が多かった。「緊急事態宣言に伴う飲食店への休業・営業時間短縮要請が、飲食店だけでなく食品納入業者等に大きく影響を与えている」

「コロナが収束しなければ、今後の見通しは不明である」「緊急事態宣言が解除されれば、人流も活発となり、地域経済も回復傾向に進むと思われる」「コロナが収束し、従래のように新幹線を使った人の交流が増えれば期待が持てる」というコメントがあった。

『**クリーニング**』…総じて厳しいという声が多かった。「新型コロナ第5波で緊急事態宣言が発出され、昨年以下の仕事量となっている」「夏季休暇、シルバーウィークにおいてもピークが鈍化している」「ステイホーム、リモートなどでスーツ、シャツを着る機会が減っている為、クリーニング需要が少ない」とのコメントがあった。今後の見通しについて「政府の緩和措置やワクチンの接種率の増加があれば売上増加に期待できる」「コロナが収束しても需要が回復するのか不安である」とのコメントがあった。

『**運輸・倉庫**』…「コロナの影響による需要の低迷」「この先の予測がつかない」とのコメントがあった。

『**自動車整備**』…「コロナ危機を起因とする経済活動収縮で設備投資の減少（コンクリートミキサー車等の新車塗装）、今後も先行き不透明で既存顧客の確保が命綱となる」とのコメントがあった。

『**不動産**』…総じて供給が増加しているという声が多かった。「宅地分譲については、売り物件が目につくようになった。土地を処分したい地主が増加しているが、順調に買い手が見つかるかは見通せない」「分譲地は相変わらず増えている。相続等で空き家や空き地が増え、良い場所は売買が成立するが、売れない場所では荒廃が目立つ」「安くても良いから手放したいという所有者もいる」とのコメントがあった。今後の見通しについて「良い見通しはない。コロナの影響で日本全体の経済は落ち込む」「消費者に金が回り、不動産購入まで動きがあるかは見通せない。ただ、所得増がすぐに期待できなくても、ローン等で有利な支援があれば今ここで購入しておいた方がよいのではと考える人もいるようだ。早期景気回復と消費者が実感できる流れが欲しい」「街から離れた物件で狭い道に面した土地や建物は荒れていく。生活に便利な土地は売れる」とのコメントがあった。

『**求人広告・広告デザイン**』…総じて求人需要が大幅減という声が多かった。「新型コロナウイルスの影響で、団体活動が無く需要が激減して厳しい」「社会経済の硬直化に伴い、あらゆる業界、分野において需要が低迷」「コロナ禍による休業、廃業によって求人需要が低下。求人媒体への掲載控えが顕著である」今後の見通しについて「新しい生活様式を見据えた分野に転換していく必要がある」「先行きは非常に不透明な状況である」とのコメントがあった。

『**専門サービス**』…総じて過当競争に陥っているという声が多かった。「過当競争が激化している」「コロナ禍において飲食、宿泊以外の業界も良くない。その結果、士業にも影響が出ている」「業績が良くない中小企業において、経営者の突然の死亡が多発しており、親族内承継が出来ない事業所は、M&Aもままならず廃業に向かっているケースが多い」「顧客が厳しい状況であるため、その手助け（経営助言、資金調達支援、助成金支援）を出来るような士業事務所が選ばれていき、淘汰される事務所も出てくると思われる」とのコメントがあった。今後の見通しについて「コロナが収束しても様々な構造変化が予測され、それに追いついていけない企業や、資金不足でコロナの借入資金を使い果たした事業者は大変厳しい状況となる。士業もマーケットの縮小、IT化の加速の中で厳しい状況がやってくる」「イベントが増えると良いが、まだ難しいので見通しは悪いと思われる」とのコメントがあった。

『**旅館・ホテル・旅行業**』…総じてコロナの早期収束を求める声が多かった。「7月に僅かに伸びたが、緊急事態宣言により再び低迷している」「旅館業が悪化。別事業で補填しようとも旅館の販管費、設備費が悪化している。旅館業を見直し、別事業の業績を上げていくしかない」とのコメントがあった。

『**冠婚葬祭**』…総じて従래の客数ありきの経営では厳しいという声が多かった。「冠婚葬祭業のビジネスモデルは、参加人数が多ければ一件当たり売上単価が大きくなる。よって会

葬人数が多い葬式をメインに展開している葬儀社や互助会は、コロナ禍で人が集まること  
が出来ないため大きな影響を受けている」「小規模をメインターゲットにしている業者は  
少ないが、大規模及び中規模をメインにしている業者は、件数は減らずとも単価は大きく  
下落して、経営的に大変な状況が続いている」「アフターコロナで元通りになるとは考えに  
くく、どのタイミングでモデル転換をするか迫られている状況である」とのコメントがあ  
った。今後の見通しについて「コロナ関係なく死亡者数は一定数生じているので、葬式件  
数は不変だが、小規模化の傾向は続く」とのコメントがあった。

『観光バス』…「新型コロナウイルスの影響で、団体移動が無く需要が激減して厳しい。  
新型コロナウイルスが収束しないと全く見通しが立たない」とのコメントがあった。

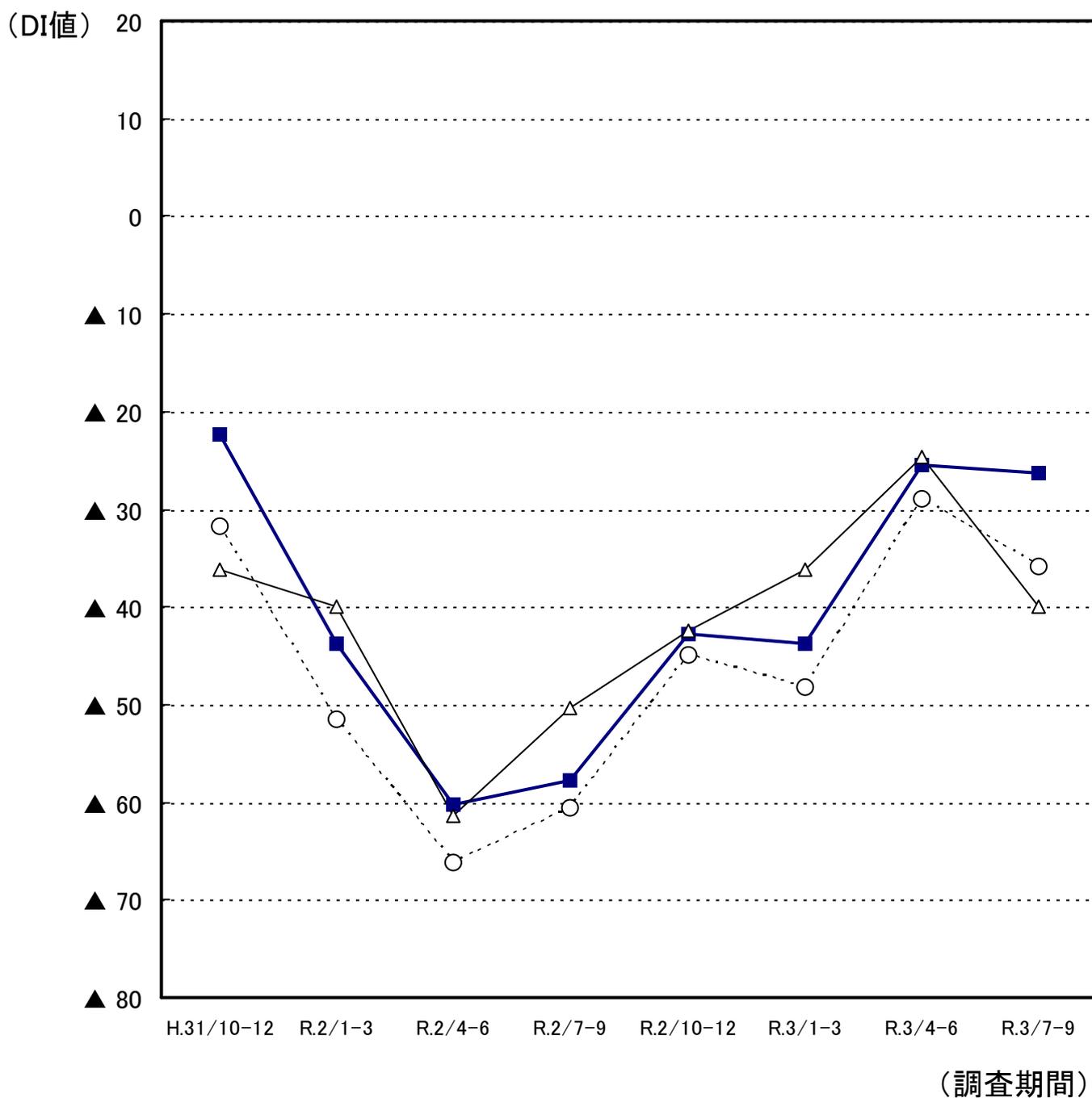
『塾・個人教授』…「9月から学校が分散登校となった。動きは少しスローだが、需要は  
見込める」「オンラインも選択肢として増えたが、塾は引き続き対面での需要が見込まれ  
る」とのコメントがあった。

『その他』…「新型コロナウイルス感染症のまん延は、地域の人流にも影響が出ており、  
住民同士のコミュニケーションが減少している。不動産業は地域情報が重要であり、情報  
を得る為の活動が出来ず、営業面でも影響が出ている」「令和5年の完成に向けて新々富士  
川橋の形が見えてきた。関連する道路周辺の土地は値上がっていくと感じる。岩松小学校  
の新築、岩松まちづくりセンターの新築も終わり、地域が活性化する雰囲気がある」「人  
が集まる行事については、今後はワクチン接種状況が大きく影響すると考えられる。ワクチ  
ン接種を確認するワクチンパスポートも一般化すると予測して、安心安全を担保するた  
めの取り組みは加速させて、安心して来場してもらう施策を打つことが企業の信頼につな  
がると考える」「飲食業等厳しい業種はあるが、富士市は全体的にはそこまで悪くないと思  
われる。逆に都内からの移住者や企業誘致等を勧めていければと思う」「まち得ゼミやまちな  
かゼミは各店で出来る。別々に予約をとることで、安心して来店できる為、評判が良い」「度  
重なる自然災害や南海トラフなどを警戒し、生活に身近なインフラ整備を優先して安心し  
て普通の暮らしが出来るまちづくりを望む声が多くなっているように思う」「駅前、商店街  
には人通りが少ない」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	3.7	40.7	55.6	▲51.9	上 昇
売上高	18.5	37.0	44.4	▲25.9	上 昇
採 算	10.7	35.7	53.6	▲42.9	上 昇

# 全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上    ○ 業況    △ 採算

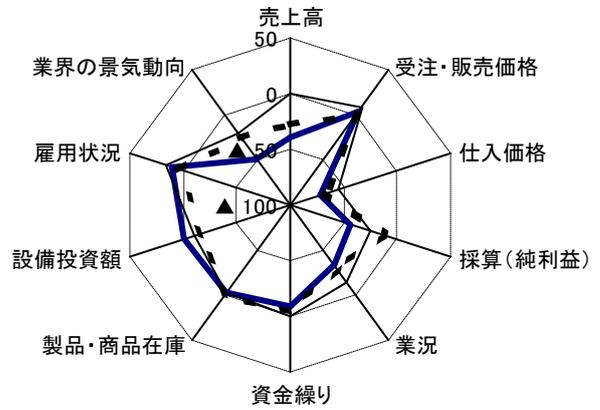


# レーダーチャート

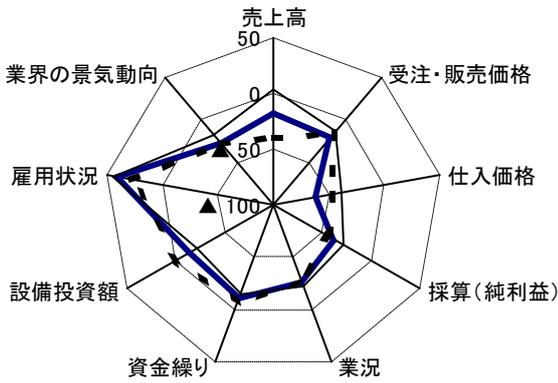
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比	———
来期予測	———
前回調査時	- - - - -

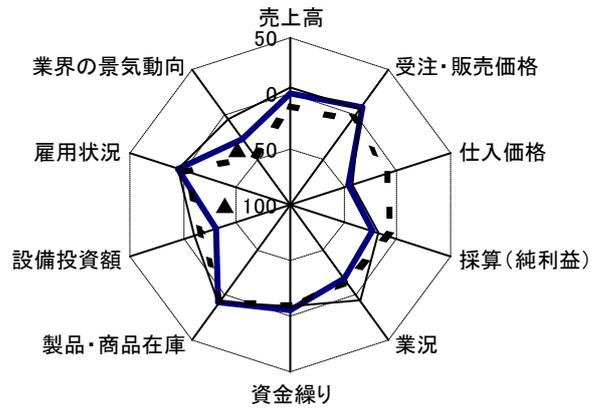
## 【製造業】



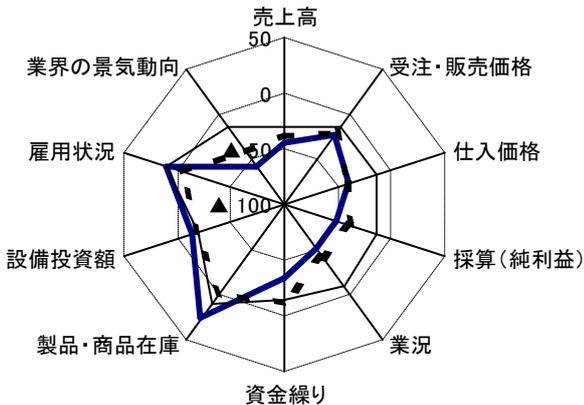
## 【建設業】



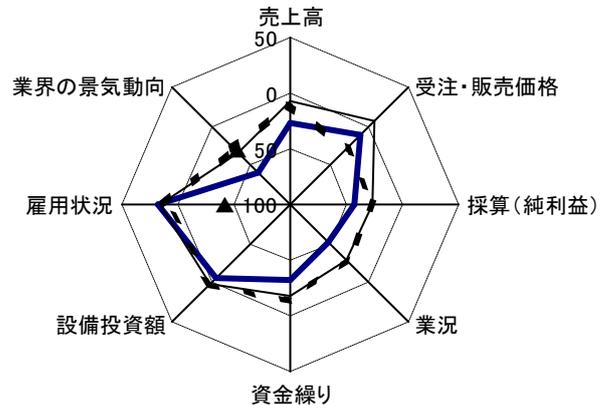
## 【卸売業】



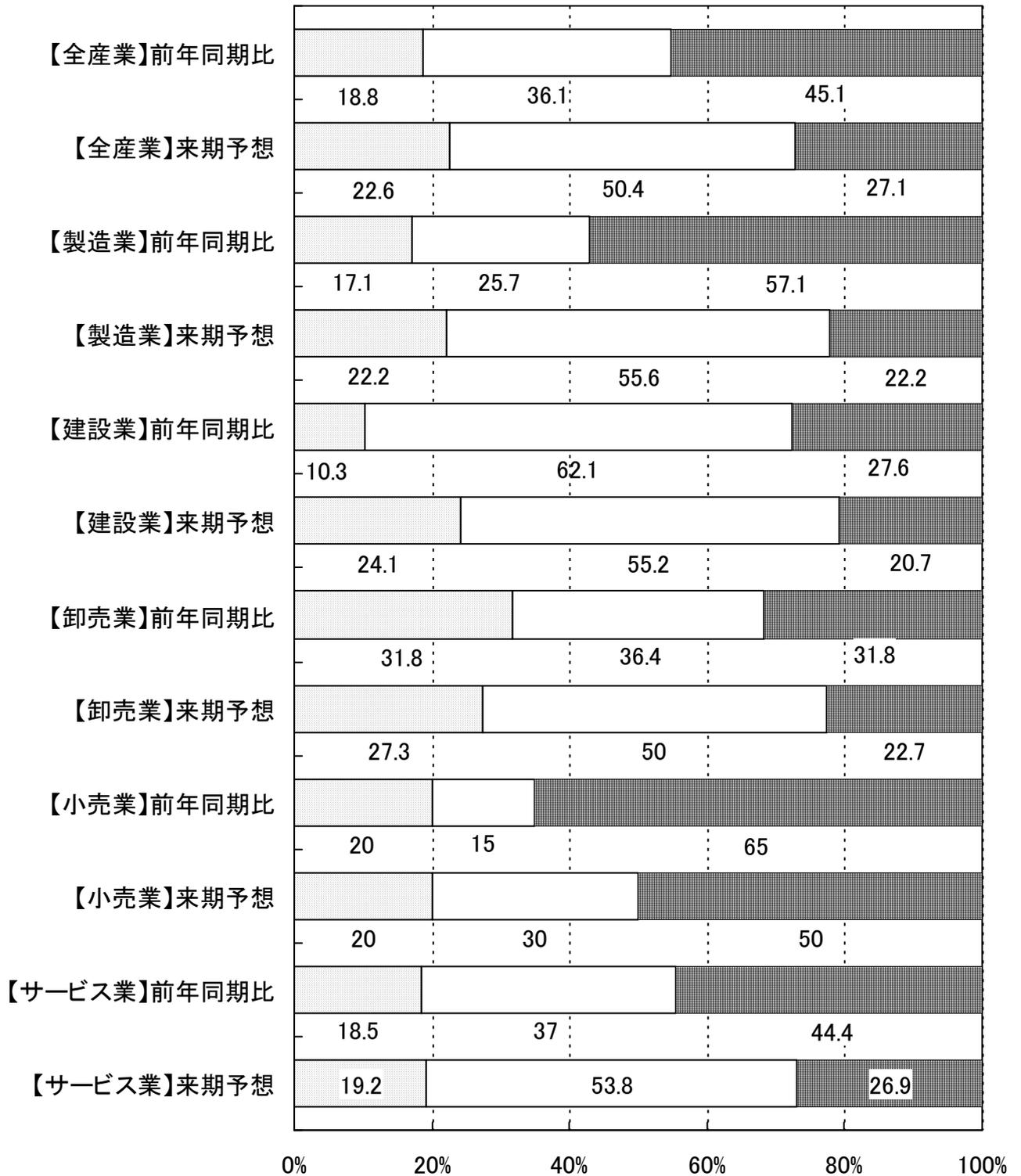
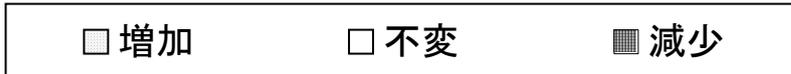
## 【小売業】



## 【サービス業】



# 売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産 業 別	上 位 回 答 項 目
製造業	<p>1 位 売上減に伴う利益減／設備老朽化</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／人材不足</p> <p>3 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>その他 販売価格値上げ難</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>3 位 その他の需要の低迷／売上減に伴う利益減／人員不足</p> <p>その他 過当競争／設備老朽化</p>
卸売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>その他 販売価格値上げ難</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 販売価格値上げ難／人材不足／設備老朽化</p>
サービス業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 設備老朽化</p> <p>その他 人件費高騰／人材不足</p>

## 最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2021年10月1日）

日本銀行静岡支店  
照会先 TEL 054-273-4106

（概況） 県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や供給制約の影響などから、このところ足踏み状態にある。最終需要の動向をみると、公共投資は高水準で推移している。設備投資は持ち直している。住宅投資は幾分持ち直している。個人消費は、財消費は堅調ながら、一部品目における供給制約の影響や、飲食・宿泊等のサービス消費における下押し圧力の強まりから、持ち直しが一服している。輸出は輸送用機械を中心に増勢が鈍化している。こうした下で、企業の生産は、このところ供給制約の影響などから減少している。この間、21/9月短観をみると、業況感足もと・先行きともに足踏み状態となっている。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善傾向にあるが、全体としては引き続き厳しい状態にある。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

- (1) 個人消費(前回からの変化) → 財消費は堅調ながら、一部品目における供給制約の影響や、飲食・宿泊等のサービス消費における下押し圧力の強まりから、持ち直しが一服している。
- 百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車新車登録台数・販売台数は、持ち直しが一服している。コンビニエンスストア売上高は、弱めの動きとなっている。家電販売額は増勢が鈍化している。ドラッグストア売上高は、増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、大幅に減少している。
- (2) 公共投資(前回からの変化) → 高水準で推移している。  
(公共工事請負金額前年比：21/7月▲12.8%→8月▲18.3%)
- (3) 設備投資(前回からの変化) → 持ち直している。  
(短観・設備投資額：20年度計画▲10.8%→21年度計画10.7%)
- (4) 住宅投資(前回からの変化) → 幾分持ち直している。  
(新設住宅着工戸数前年比：21/7月▲14.2%→21/8月11.6%)
- (5) 輸出(前回からの変化) → 輸送用機械を中心に増勢が鈍化している。  
(輸出額前年比：21/7月+51.1%→8月+36.8%<速報値>)
- 清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

## 2. 生産、雇用・所得、物価の動向

- (1) 生産(前回からの変化) → このところ供給制約の影響などから減少している。  
(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：21/6月3.9%→7月▲0.9%<速報値>)

自動車・同部品は、減少している。二輪車・同部品は増加している。食料品は、弱めの動きとなっているほか、電気機械は、減少している。化学は、弱めの動きとなっている。はん用・生産用・業務用機械は、持ち直している。紙・パルプは、減少しており、楽器は、持ち直している。

- (2) 雇用・所得(前回からの変化) → 労働需給：改善傾向にある。(→)  
雇用者所得：悪化している。(→)  
(有効求人倍率 季節調整値：21/6月1.14倍→21年7月1.22倍)
- (3) 物 価 . . . . . 前年を下回っている。  
(消費者物価指数(除く生鮮食品)：前年比21/7月▲1.1%→8月▲0.9%)

## 3. 企業倒産、金融面の動向

- (1) 企業倒産 . . . 総じて落ち着いている。  
(21/8月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(8件<前年比：▲42.8%>)  
負債総額(8億円<同：▲56.2%>)
- (2) 預 金 . . . . 前年を上回っている。(前年比：21/6月末+4.6%→21/7月末+4.7%)
- (3) 貸 出 . . . . 前年を下回っている。(前年比：21/6月末▲0.3%→21/7月末▲1.0%)
- (4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比低下している。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)  
(水準：21/6月1.409%→21/7月1.406%)

以 上